

10・11月のほけんだより

令和4年10月1日 認定こども園上小泉保育園

柔らかな秋の日差しが降り注ぎ、少しずつ季節の変化を感じられるようになってきました。気温が下がり、空気が乾燥してくると、感染症がはやりやすくなります。毎日の体調の変化に注意するとともに、室内の温度や湿度の調整、換気、そして手洗いもこまめに行うようにしましょう。

10月は健康診断があります。ご心配なこと等ありましたらご相談ください。

健康診断

歯科健診 : 10月12日(水) 13時10分～
 嘱託医は「荒川歯科クリニック」です。

内科健診 : 10月13日(木) 13時30分～
 嘱託医は「おのうえこどもクリニック」です。

尿検査 : 日程が決まり次第お知らせします。
 ●都合により日程が変更になる場合は、その都度お知らせいたします。
 換気などの感染症対策を行い健診を実施します。当日体調が悪い場合は登園を控えてくださいますようお願いいたします。



10月10日は目の愛護デーです ちゃんと見えているかな？ コロナ禍で低下する子どもの視力 ▶ 当てはまるものがあれば受診して！ ▶



視力の発達にはタイムリミットが

赤ちゃんや就学前の子どもは、0.2程度の視力があれば、不便なく日常生活を送れるため、多くの保護者は子どもの視力不良や、片目の視力だけが弱いことに気づきにくいといわれています。しかし、視力が発達するのは6～8歳まで。その年齢まで見えにくい状態を放置しておくと、眼鏡をかけても視力が出ない「弱視」になってしまいます。気になることがあれば3歳児健診を待たずに受診して、早期発見・早期治療をすることがとても重要です。

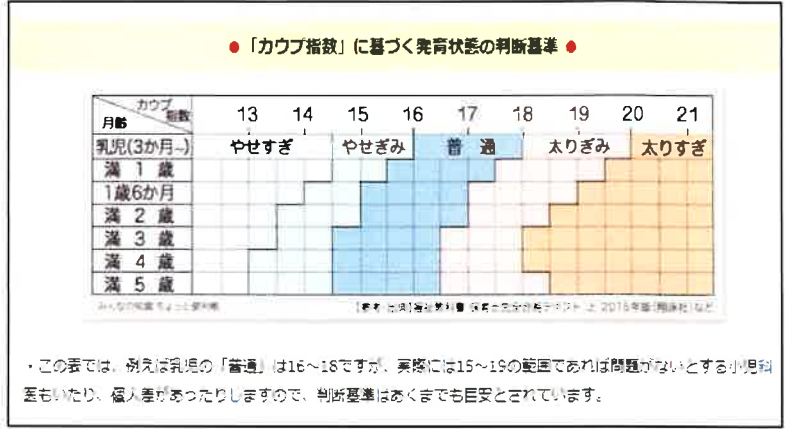
- 物を見るとき、左右どちらかに頭を傾げる、顔を回す、あごを上げる(下げる)
- 片方の目(視線)が内側に寄っている
- 片方の目(視線)が外側に向いている
- 目を細めて見る
- 極端に近づいて見ようとする
- 上目づかい(下目づかい)で物を見る
- まぶたの形(大きさ)に左右差がある
- 屋外で異常にまぶしがる・いやがる
- 瞳の中央(奥の方)が白く光る



3歳以降の肥満に要注意!



乳幼児期は体重の変動が激しく、あまり心配はいりません。特に1歳くらいまでの肥満は乳児肥満といって、歩けるようになって運動量が増えると、どんどん体がしまってきます。ただ、心配なのは、3～6歳にかけて太ってきた場合。そのまま肥満につながりやすいので、注意しましょう。



園では、毎月身体測定を行っています。(胸囲は5月10月)そこで、4月から9月までの半年間の成長記録を曲線グラフにしてお渡ししました。また、肥満とやせの目安としてカウプ指数が記載されています。子どものからだつきは、成長とともに変化し、個人差も大きいので一応の目安として下さい。「普通」にはいないからといってただちに異常ということではありませんが、心配な場合は医師に相談しましょう。



インフルエンザ予防接種を受ける時期となりました

昨年はインフルエンザの流行はみられませんでした。今年インフルエンザの動向についてまだわかっていません。滑川市では、昨年度に引き続き、助成事業を実施しています。詳しくは、滑川市教育委員会子ども課までお問合せ下さい。電話番号:076-475-2111(内線:325 家庭福祉係)



園からのお願い

予防接種後に副反応(発熱など)をおこすおそれがあります。お子さんの負担も考慮して、**接種後の登園は控えてください**。接種後はお家の方で様子をみましょう。ご理解よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症がまだ落ち着いていない状況です。今後も感染対策のご理解とご協力をお願いいたします

お願い

- ご家族で発熱など体調が悪い方がおられましたら登園を控えてください。
- コロナのPCR検査を受検されたり抗原キット検査で陽性が確認された場合速やかに園に連絡し、お子さんのお迎えをお願いします。
- 園で発熱し受検された場合は、必ず結果を報告してください。